

# 士別市まちづくり総合計画策定に伴う中高生アンケート調査

## 集計結果（高校生分）

### 【概要版】

#### 1. 調査の概要

##### ◆目的

これからの本市を担う青少年を対象としたアンケート調査を行うことにより、まちづくりで重視すべきことや青少年の意識を把握します。

また、平成18年度に実施した中学生・高校生アンケート調査結果と比較することで、この間の満足度や意識の変化等も把握します。

##### ◆調査方法

市内の高校に通う生徒を対象とし、各学校で配付、回収を行いました。

(1) 調査対象者：市内の高校に通う生徒（1年生及び2年生）⇒262名

(2) 調査時期

配付：平成29年3月10日

回収：平成29年3月17日

(3) 回収率

回収数：257件

回収率：98.1%

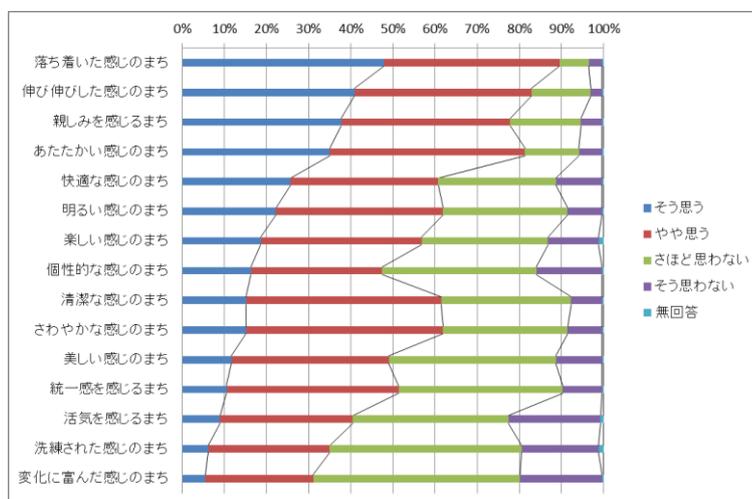
#### 2. 集計結果

##### ◆まちのイメージ

【問】あなたは、士別市にどのようなイメージを感じていますか。

肯定的な意見が多かった項目は、「落ち着いた感じのまち」、「伸び伸びした感じのまち」、「親しみを感じるまち」、「あたたかい感じのまち」であり、今年18歳以上の市民を対象として実施した市民アンケート調査の結果と同様の結果となった。

また、否定的な意見が多かった項目は、「変化に富んだまち」、「洗練されたまち」、「活気を感じるまち」「個性的な感じのまち」であり、この結果も、ほぼ市民アンケート調査と同様の結果となっている。



項目ごとに前回調査と比較すると、全体的に肯定的な意見の割合が上昇しており、特に「伸び伸びとした感じのまち」、「楽しい感じのまち」、「明るい感じのまち」などの肯定的な意見の割合が前回調査から30ポイント以上、上昇している。

## ◆まちの資源

【問】現在の士別市のどのようなところが自慢だと思いますか。

肯定的な意見の割合が多かった項目については、大きく3つに分類できる。

- ①羊 関係…「羊と雲の丘（羊飼いの家、世界のめん羊館を含む）」、「羊（サフォーク、羊肉、羊毛製品など）」
- ②スポーツ…「スポーツ合宿（陸上、ジャンプなど）」、「陸上競技場」、「ハーフマラソン大会、オリンピックデーラン」
- ③地 域…「天塩川」、「しべつ雪まつり」、「自動車等試験研究施設」、「農産物」

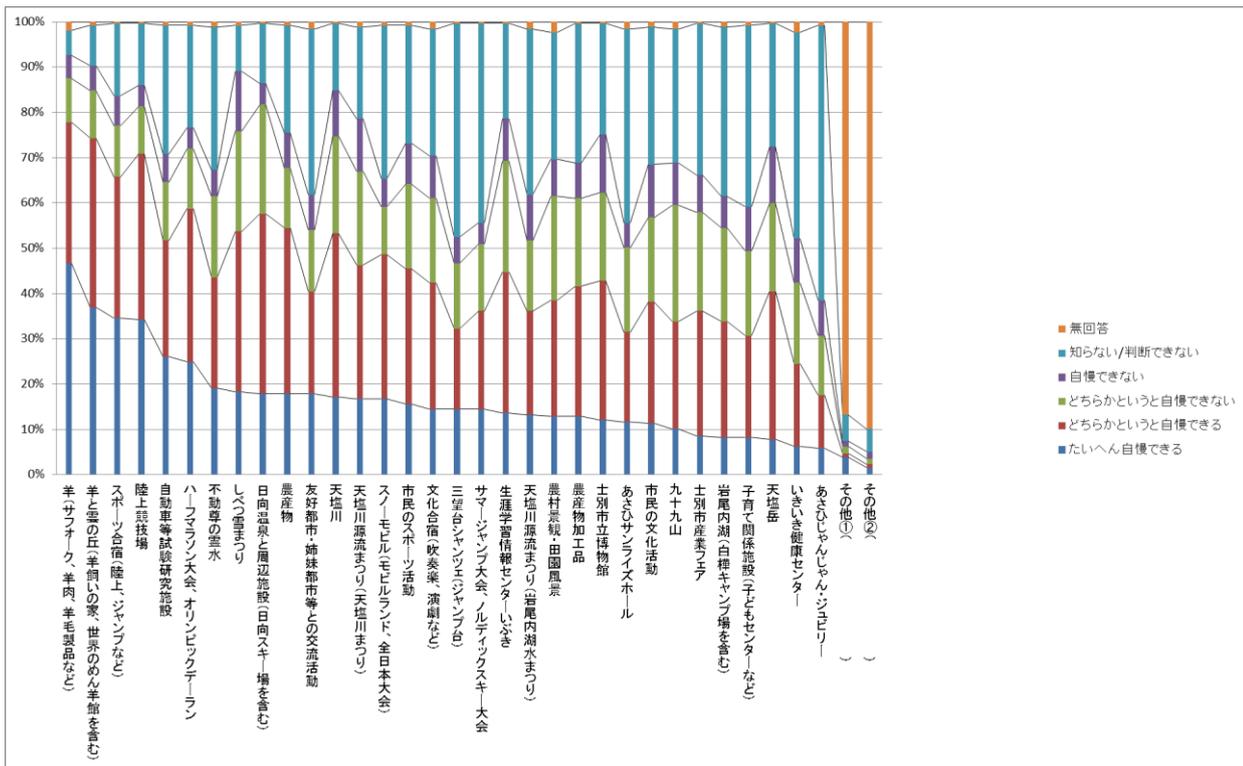
否定的な意見の割合が多かった項目については、大きく2つに分類できる。

- ①朝 日 町…「あさひじゃんじゃん・ジュビリー」、「あさひサンライズホール」
- ②健康・子育て…「いきいき健康センター」、「子育て関係施設（子どもセンターなど）」

本市の総合計画で、【まちの個性】に掲げている「サフォークランド士別」、「合宿の里・士別」、「自動車等試験研究のまち・士別」の3点について、高校生の視点からも自慢できるという結果が得られた。

否定的な意見の割合が多かった項目は、朝日町でのイベント及び施設と健康・子育てに関連する項目であった。

また、今回のアンケート調査では、32項目中24項目（新設3項目）で〈知らない/判断できない〉の割合が上昇しており、まちの資源のPRが不足していることが伺える。



## ◆日常生活やまちづくりに関する満足度

【問】現在の日常生活の分野に、どの程度満足していますか。

日常生活については7分類（「居住環境」、「学習・教育」、「余暇」、「保健・医療・福祉」、「市民生活の足としての市内でのバス運行」、「市民による地域活動・社会活動」、「日常生活全般」）50問で満足度を調査した。

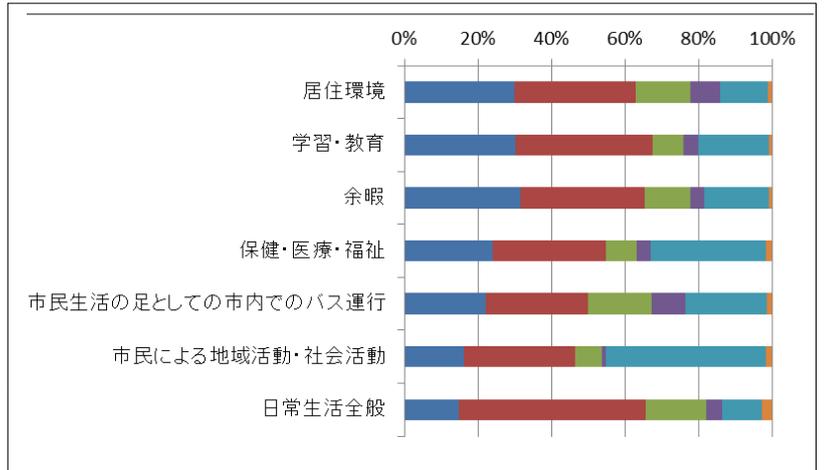
「居住環境」では、自宅周辺環境の利便性や冬期間の自宅周辺の環境、外出のしやすさについて否定的な意見の割合が高い。

「学習・教育」及び「余暇」については肯定的な意見の割合が高いが、「余暇」における旅行やレジャー、レクリエーションを楽しむ場や機会、家庭菜園やガーデニングなどを楽しむ機会では否定的な意見の割合が高い。

「保健・医療・福祉」では、障がい者のための福祉施設や制度とひとり親世帯のための支援策、子育ての支援策について否定的な意見の割合が高い。

「市民生活の足としての市内でのバス運行」では、運行回数と時間帯において否定的な意見の割合5割を上回っている。

「市民による地域活動・社会活動」については、分野全体の中で肯定的な意見の割合が一番低く、特に周りで行われている福祉に関する社会活動と地域活動を支える場や仕組みについては肯定的な意見の割合が4割を下回っている。



## ◆活気あるまちづくりに必要なこと

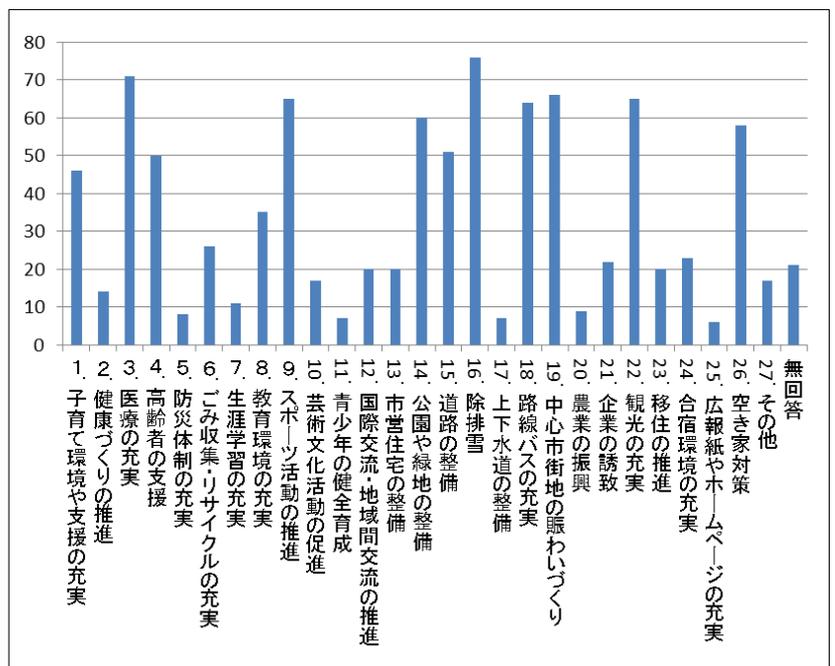
【問】士別市を活気あるまちにしていくなために必要だと思うことは何ですか。(複数選択可)

○回答数が多い項目

- ・ 除排雪
- ・ 医療の充実
- ・ 中心市街地の賑わいづくり
- ・ スポーツ活動の推進
- ・ 観光の充実

○回答数が少ない項目

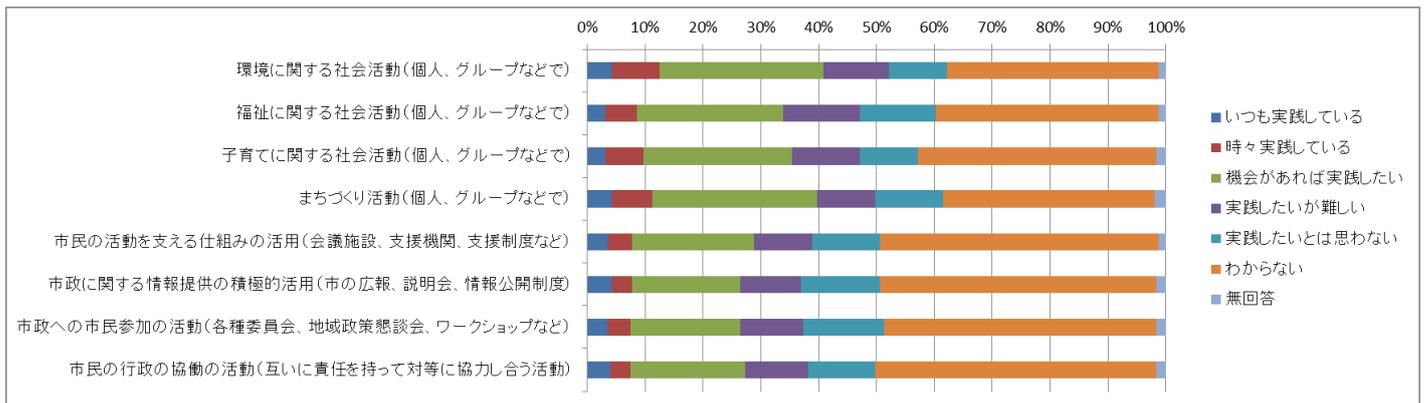
- ・ 広報紙やホームページの充実
- ・ 青少年の健全育成
- ・ 上下水道の整備
- ・ 防災体制の充実
- ・ 農業の振興



## ◆市民参加や協働の活動について

【問】 あなた自身が、地域活動や社会活動をはじめ市民参加や協働の活動に取り組むことについて、どのように考えていますか。

各設問において、「わからない」という意見が3分の1以上を占めている。また、「いつも実践している」や「時々実践している」、「機会があれば実践したい」という積極的な回答は、25～40%と低い割合となっている。

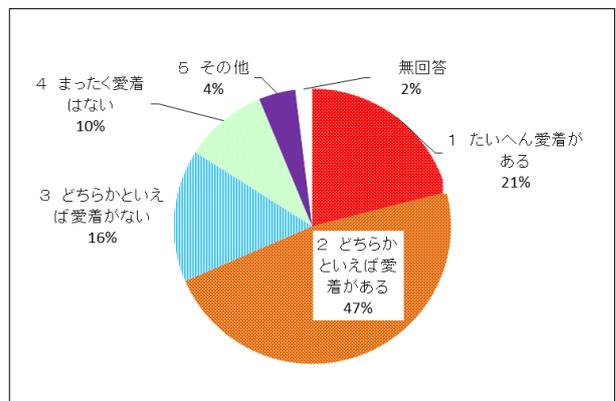


## ◆愛着度

【問】 あなたは土別市が好きですか。

肯定的な意見（好き、どちらかといえば好き）が、全体の7割近くを占めている。

前回調査と比較すると、「たいへん愛着がある」が7ポイント、「どちらかといえば愛着がある」が8ポイント増加しており、あわせて肯定的な意見が15ポイント増加している。

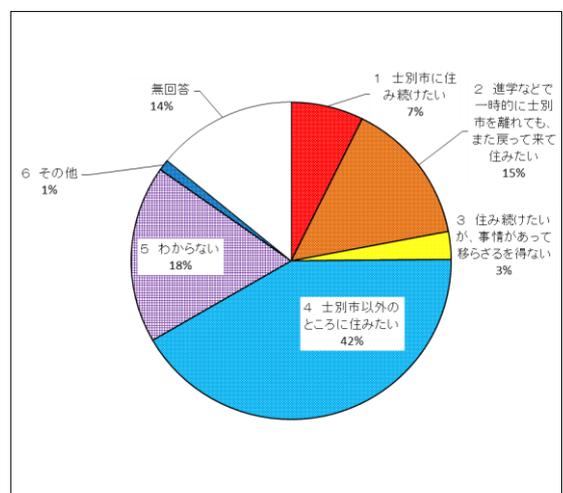


## ◆定住意識

【問】 あなたは、将来も土別市に住み続けたいと思っていますか。

定住について、「土別市に住み続けたい」、「進学などで一時的に土別市を離れても、また戻ってきて住みたい」という定住の意思を示した意見は21%程度で、「住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない」、「土別市以外のところに住みたい」という土別市以外での居住を希望する意見は39%となっている。

前回調査と比較して、定住の意思で1ポイントの減少、土別市以外での居住希望は6ポイント減少しており、その分「わからない」や「その他」、「無回答」が上昇している。



実施機関：次期総合計画策定本部（土別市総務部総合企画室企画課）  
 問い合わせ先：0165-23-3121（内線：2218） 川村